

プレガイドブック

オートメーションと計測の先端技術が集う

SCF 2015

システムコントロールフェア

技術がつながる、未来が拓ける、ものづくりイノベーション



計測展 2015

TOKYO

計測と制御で創る未来の地球

IoT/M2Mで世界を変える

第4次産業革命

CONTENTS

- 1 表紙・目次
- 2-3 「システムコントロールフェア 2015 の見どころ」
システムコントロールフェア 実行委員会 会長 川野 薫 氏
- 4-5 「計測展2015 TOKYOの見どころ」
一般社団法人 日本電気計測器工業会(JEMIMA)
企画運営会議 議長 宮沢 敬治 氏
- 6-7 プレビュー 1
主催者特別展示「第4次産業革命-つながる化」
- 8-9 プレビュー 2・プレビュー 3
基調講演・特別講演・特別セッション・アトリウムステージ

- 10-11 約120の先進セミナー紹介／タイムテーブル
- 12-13 展示会場フロアマップ 西1ホール・西2ホール(1階)
- 14-15 展示会場フロアマップ 西3ホール・西4ホール(4階)
システムコントロールフェア 2015 出展者一覧
計測展2015 TOKYO 出展者一覧
オープンネットワークゾーン／海外パビリオン／
出版・報道・公共団体／
大学・高専テクニカルアカデミー研究発表 出展者一覧
- 16 公式サイト紹介／Facebook「第4次産業革命」／招待券

<http://scf.jp/>

事前登録受付中
公式サイトよりお申し込みください

<http://jemima.or.jp/tokyo/>

2015.12/2 水・4 金

東京ビッグサイト西1・2・3・4ホール・アトリウムステージ

開催時間/10:00 ~ 17:00 入場料/一般 1,000円(税込)

※事前登録者または、ご招待券持参者は入場無料になるだけでなく、入場がスムーズになります

主催：[SCF2015]

JEMA 一般社団法人 日本電機工業会

NECA 一般社団法人 日本電気制御機器工業会

[計測展 2015 TOKYO]

JEMIMA 一般社団法人 日本電気計測器工業会

日本のものづくりに第4次産業革命の波

FAの最新動向が見える 「SCF 2015」が開催

ファクトリー・オートメーション(FA)の最新技術を一堂に集めた「システム コントロール フェア 2015」(SCF 2015)が、2015年12月2日(水)から4日(金)にかけて、「計測展2015 TOKYO」と同一会場となる東京ビッグサイトにて同時開催される。「SCF 2015」では、ものづくりにIT技術を活用して全体最適化を図る「第4次産業革命」や「つながる化」に関連した多くの情報が発信される。「SCF 2015」の実行委員会会長を務める川野 薫氏に見所などを聞いた。



システムコントロールフェア実行委員会 会長
株式会社 日立製作所 執行役常務
電力・インフラシステム営業統括本部 統括本部長

川野 薫氏

Kaoru kawano

ーシステムコントロールフェア(SCF)
の概要について教えてください。

川野：システム コントロール フェアはファクトリー・オートメーション(FA)関連の最新技術や最新製品を一堂に集めた展示会で、1988年(昭和63年)に始まり、今回で18回目を迎えます。電機メーカーで構成される民間の工業会、一般社団法人日本電機工業会(JEMA)が主催しており、第3回からは一般社団法人日本電気制御機器工業会(NECA)との共催になりました。

産業用ロボット、産業用ネットワーク機器、シーケンサー、制御機器などの製品やソリューションが各社から展示されるほか、新しい工場の姿やものづくり技術のトレンドを発信する場でもあり、実は第3次産業革命を推進してきた産業界からも高く評価されている展示会です。

今回も前回の2013年と同じく、計測技術の専門展である一般社団法人日本電気計測器工業会(JEMIMA)主催の「計測展2015 TOKYO」と同一会場・同一期間にて開催します。前回に比べおよそ2倍の規模に相当する東京ビッグサイトの西ホールとアトリウムのすべてを両展示会が使用し、7万人のお客様の来場を見込んでいます。

ー「SCF 2015」が対象とするものづくりの現場ではどのような変化が起きているのでしょうか。

川野：ものづくりの現場では過去にも大きな変革が起きてきました。代表的なところでは、蒸気機関を導入した18世紀の第1次産業革命に始まり、電力を利用して効率化が図られるようになった第2次産業革命、および、コンピュータ・メカトロニクスを利用して自動化を進めた20世紀の第3次産業革命などが挙げられます。

そうした変革を経て現在進んでいるのが「第4次産業革命」です。センサーを使って機器や設備の状況を把握するIoT(モノのインターネット)に加えて、センサー他から収集した膨大なデータを解析し判断するビッグデータ技術やAI(人工知能)技術、自社にとどまらずサプライチェーンの上流から下流までを情報でつなげる技術、それらを経営指標として見える化する技術、さらにはオープンイノベーションなど、さまざまな技術を集めて全体最適化を図ろうという機運が盛んであり、これらを総称して「第4次産業革命」と呼んでいます。

別の見方をすると、機器同士がつながる、機器と上流のITインフラとがつながる、工場と工場がつながる、サプライチェーンを構成する外部の企業やユーザーニーズに対応して異業種企業とつながる、といったことが起ころうとしているわけで、その意味で「つながる化」といえるでしょう。

今回の「SCF 2015」では第4次産業革命に関するさまざまな情報を発信していきます。

「第4次産業革命」や「つながる化」を発信

ーそうした変化を踏まえて「SCF 2015」の見所を教えてください。

川野：先ほど申し上げたような第4次産業革命やつながる化を背景に、日本や欧米ではものづくりに回帰しようという動きが起きています。こうした時代の変化に対応するために、世界トップクラスの展示会を目指して、「計

測展2015 TOKYO」とともに「SCF 2015」の進化を図っていきます。会場規模を前回のおよそ2倍に拡大したのもそうした狙いの一環です。

「SCF 2015」の見所となる企画のひとつが潮流の発信です。「第4次産業革命 -つながる化-」をテーマに、IoTやM2M、安全、セキュリティ、環境、エネルギー、ICT、イノベーションなどの最新動向について、計測展と共同で情報を発信していきます。

受講無料の講演会・セミナーも充実したプログラムを用意しています。12月2日の基調講演では、日本における第4次産業革命のリーディングカンパニーの社である日立製作所の齊藤 裕執行役副社長が「現場と経営・社会をつなぐモノづくりの革新」と題して登壇します。また、特別講演や特別セッションでは、サイバーセキュリティやインダストリアル・インターネットに関する戦略などを担当する産官学のキーパーソンをお招きします。そのほか、120の個別セッションを用意しています。

もうひとつの見所がグローバル化です。SCFとして初めてとなる海外パビリオンを用意し、4カ国から交流団体が出展します。先ほどの講演会・セミナーでも、ドイツの電気・電子工業連盟(ZVEI)やアメリカのインダストリアルインターネットコンソーシアム(IIC)からスピーカーをお招きする予定です。

もちろん、出展各社の最新ソリューションやテクノロジーもぜひご覧になってください。

ー第4次産業革命の影響をどう見ていますか。

川野：日本においても第4次産業革命に対する関心が高まりを見せています。2015年5月21日に「第4次産業革命が向かう先」と題する「SCF/計測展プレセミナー」を東京で開催したときには参加者の募集を開始したその日にはほぼ満席になって、事務局もたいへん驚きました。また、SCFではFacebookに「SCF 2015」を開設し、第4次産業革命を中心にドローンや人工知能などの

新しい動きまでも関連するニュースを毎日発信していますが、若い方を中心に2,000人ぐらいの方が定期的に覗いてくださっているようですし、不定期をあわせると2万人ぐらいが見ておられます。

関心の高さの裏には、例えば多くの産業で設備の老朽化が進んでいることが一因になっていると見ています。少ないエネルギーで効率的な生産を実現できる設備への更新が急務となっているからです。また、工場から多くのデータを集めて解析し全体最適化を図ることで、複数の工場を統合するなど、さまざまな効率化や経営判断が可能になります。SCFとしてもそうしたメリットやメッセージを、経営層も対象にしながら、正しく発信していきたいと考えています。

日本のものづくりの変革を自ら作る

ー最後に、来場者に向けたメッセージをお願いします。

川野：第4次産業革命はスタートしたばかりです。こうした動きへの対応は見せ方の上手な欧米が先んじて見えますが、日本でもすでに多くの企業が取り組んでおり、決して後れをとっているわけではありません。ただし、変革の行く末は当事者も含めて誰にもわかりません。その意味では、出展者の皆様だけではなく、来場者の皆様も一緒になって、自分たちの手で変革を作り上げていただきたいと思いますし、そうした姿勢が日本をより元気にすると信じています。もちろんSCFも第4次産業革命の変革にしっかりと取り組んでいきます。「SCF 2015」と「計測展2015 TOKYO」にひとりでも多くの方に来場していただき、何が起きているか、あるいは、何が起きようとしているかをご自身の目を見て、そして変革の未来作りに参加していただきたいと思います。

「産業のマザーツール」の最新技術が集結

計測・制御の未来が見える 「計測展2015 TOKYO」

工場やプラントの制御並びにものづくりに不可欠な電気計測の最新技術および最新ソリューションを通じて計測の現在と未来を見せる「計測展2015 TOKYO」が東京ビッグサイトで2015年12月2日(水)から4日(金)に開催される。ファクトリー・オートメーション技術を集めた「システム コントロール フェア 2015」との同一会場・同時開催によって計測と制御の最新動向にワンストップで触れられるのが特徴だ。「計測展2015 TOKYO」を主催する一般社団法人 日本電気計測器工業会の宮沢 敬治氏に話を聞いた。

—「計測展」について教えてください。

宮沢：情報通信技術 (ICT) の発展、“モノ” のインターネット (IoT) 社会実現に向けた大規模な産業構造転換などの動きが顕著となり、世界の製造業のあり方も大きく変わろうとしています。来るべき“モノ” のインターネット社会の重要な基本要素である、測定器、計測制御機器、オートメーションシステムを担う工業会として、大きな変化の時代に向けて積極的な展開が求められています。

ものづくりの現場となっている工場やプラントの自動化や省エネ化を進めるには、取り扱う気体や液体の温度、圧力、液面、流量などに関する正確な情報が不可欠です。たとえば工場を見える化して効率化を図ろうというときにも、正確な計測がなければ見える化を実現することはできません。また、製造だけでなく電気計測器は、研究・開発、設計のイノベーションを支え、その意味でも計測技術はきわめて重要な役割を担っており、計測機器は製品のライフサイクル全般を支える「産業のマザーツール」と呼べます。

一般社団法人 日本電気計測器工業会 (JEMIMA) が主催する「計測展」は、半導体、デジタル家電、通信などエレクトロニクス産業を始めとして、鉄鋼、化学、石油精製、電力、食品、上下水道など広範囲にわたる業種において様々な物理量を正確に測定し、電気



一般社団法人 日本電気計測器工業会 企画運営会議 議長
アズビル株式会社 理事 技術開発本部基幹技術開発部長

宮沢 敬治氏

keiji miyazawa

信号として出力する「電気計測」を対象にした国内最大の展示会です。ものづくりを支える電気計測の最新テクノロジーや製品のほか、関連するICTやIoTなど大規模な産業構造転換の動きも合わせて最新技術が一堂に会します。

なお、主催者であるJEMIMAは電気計測器や関連技術を扱う企業によって構成された業界団体で、1948年の設立以来、日本の強いものづくりの発展に微力ながら寄与してきました。2015年9月現在で84社が正会員になっているほか、31社7団体が賛助会員として名を連ねています。

ー今年の「計測展2015 TOKYO」の概要を教えてください。

宮沢：JEMIMAでは東京と大阪で一年おきに「計測展」を開催しており、2015年は12月2日(水)から4日(金)を会期に、東京ビッグサイトにて「計測展2015 TOKYO」を開催します。

前回の「計測展2013 TOKYO」と同様に、一般社団法人 日本電機工業会(JEMA)と一般社団法人 日本電気制御機器工業会(NECA)が共催する「システムコントロール フェア 2015」(SCF2015)と同一会場・同時開催し、「オートメーションと計測の先端技術が集う」を統一テーマに、開発、設計から工場やプラントを支える計測と制御に関する最新動向や最新技術をワンストップでお見せします。東京ビッグサイトの西ホール全館とアトリウムのすべてを両展示会が使用する、これまでで最大規模の開催となりますので、ぜひご期待ください。

なお、東京ビッグサイトの東ホールで同時期に開催される「2015国際ロボット展」との相互入場も実施しますので、ロボット展にお越しのお客様もぜひ「計測展2015 TOKYO」に足をお運びいただければと思います。

「つながる化」をテーマとする企画を用意

ーどんなところが見所として挙げられますか？

宮沢：近年はIT技術を活用してもの

づくりの効率化や自動化をさらに図っていくという動きが盛んです。ドイツの「Industrie 4.0」、センサー技術を使ったIoT(Internet of Things:モノのインターネット)、実世界とIT世界とを結んだサイバー・フィジカル・システムなど、さまざまな言葉や概念が登場しており、「第4次産業革命」とも呼ばれています。工場やプラント内のさまざまな設備や機器がつながるという意味で「つながる化」とも言えるでしょう。

「計測展2015 TOKYO」にはこうした新しい潮流に対応する各社の最新ソリューションが多数展示される予定です。JEMIMAでも、JEMAおよびNECAとの共同企画による「第4次産業革命ーつながる化ー」をテーマとする主催者特別展示や、講演・セミナーを通じて、さまざまな情報を発信していきます。

アトリウムステージではフリーアナウンサーによるトークショーを展開します。展示会の「見どころ聴きどころ」の紹介を始め、未来の工場、IoTを支える計測技術、ものづくり現場での女性の活躍など、ホットな話題をお届けします。是非ご覧になってください。

ーセミナーや講演会も企画しているそうですね。

宮沢：今回は展示ばかりでなく、カンファレンスにも力を入れています。出展者が実施する出展社セミナーだけでも80セッション、基調講演・特別講演・特別セッションを始め、新たに企画したIoTセッション、スポンサーセッションなど、豊富なセミナーを用意してお待ちしています。

また、JEMIMAでは「JEMIMA委員会セミナー」としてJEMIMAの各委員会による技術セミナーを7セッションほど企画しており、制御システムのセキュリティ、IoTのセンシングや無線給電技術、IIoT(インダストリアルIoT)によるエネルギー利用の最適化、IIoTの国際標準動向など、ホットなトピックをお伝えします。JEMIMAは国内外のさまざまな標準化活動にも参加していますので、他では得られ

ない情報を発信できるところが、私たちの強みと考えています。

サイバー・フィジカルで日本の発展を

ーそのほかにトピックスがあれば教えてください。

宮沢：フィールドバス協会とHART協会が2014年に合併して設立したフィールドコム・グループ(プロセスオートメーションにおける統一通信技術をリードする協会)の国際会議を計測展と同日程で東京会場に誘致し、JEMIMA主催者企画としてカンファレンスおよびブース展示をおこないます。フィールド・コミュニケーションに関する最新技術や標準化動向などに触れられる、またとないチャンスです。是非お越しください。

ー最後に、計測分野の展望と来場者に向けたメッセージをお願いします。

宮沢：産業のマザーツールとも呼ばれる高性能かつ高精度な電気計測技術を持っているのが日本の強みのひとつであることは間違いありません。一般には欧米の技術やアジア圏の生産力などに目が行きがちですが、世界で展開される最先端の高性能な製品の基本を支えているのは日本の技術であり、日本が培ってきた最先端の電気計測技術もその一端を担っていると考えています。日本の得意分野のひとつである電気計測のソリューションが一堂に会する「計測展2015 TOKYO」に足を運んでいただければと思います。

なおJEMIMAでは、新しい動きを踏まえて、電気計測器メーカー以外の企業の皆様も加入できるように2015年5月に会員規約を改正しました。サイバー・フィジカル・システムが叫ばれる世の中で、これまでのフィジカルに関わる企業だけではなく、サイバーに関わる企業の皆様にもぜひ参加していただき、日本の技術力をさらに発展させていければと願っています。



過去の産業革命

産業の発展にはいくつかの節目がありました。「産業革命」という言葉で振り返ると、第1次は、18世紀の英国から世界に広がった繊維工場などへの『蒸気機関』の導入。第2次は、20世紀初頭米国を中心に発展した『電気エネルギー』を利用したベルトコンベアによる大量生産。第3次は、20世紀後半の『コンピュータによる生産の自動化』で、日本の製造業は「カイゼン」を駆使して急速に競争力を高めました。

4度目の産業革命が始動

そして今、インターネットの爆発的な普及により、誰もがスマートフォンを片手に莫大な情報を共有する世の中がやってきました。ものづくりの現場も激変します。工場の生産装置やラインを流れる部品、湿度や気温を測定するセンサなど、ありとあらゆるモノがネットワークに接続して情報を交換する『Internet of Things』により、4度目の産業革命が始動したのです。

2015年を駆け抜けたキーワード

本年1月5日発売の日経ビジネスで「第4次産業革命」が特集されると、賀詞交歓会の挨拶はその話題で一色となりました。その後「Internet of Things」、「Cyber Physical System」、「Industrie 4.0」、「Industrial Internet」といったキーワードを皆が次々に口にするようになり、日本における第4次産業革命が幕を開けました。2015年はマスコミが競ってこうしたキーワードを使い、展示会やセミナーはこの話題で持ちきりになりました。

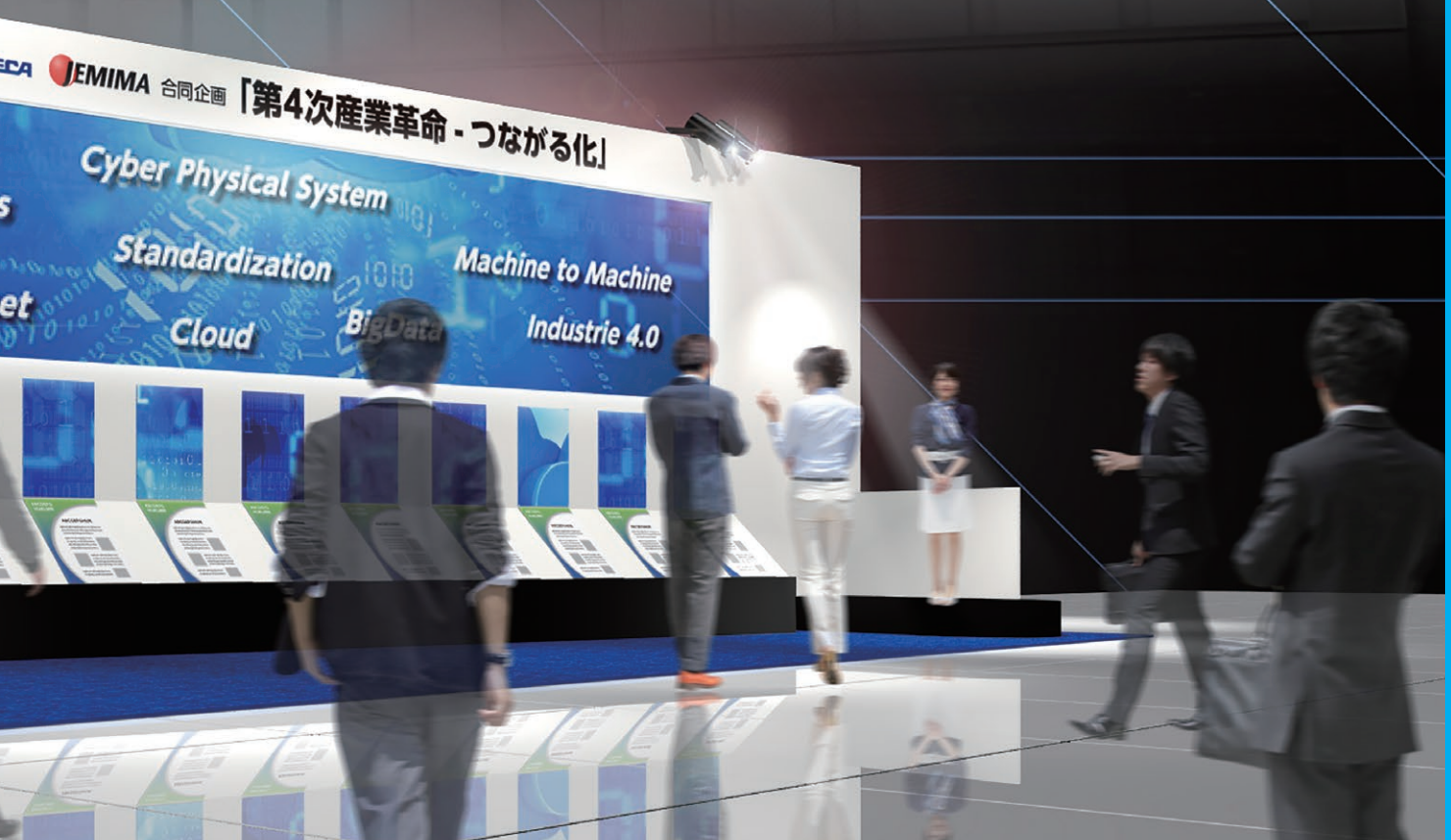
2016年戦略立案の必須コンテンツ

本展示会では2015年のこうした動きを総括する意味で「第4次産業革命—つながる化—」をテーマに、あらたな潮流を多角的に解説する特別展示を企画しました。産業システムに携わる経営層、マーケティング、エンジニアにとっては2016年の戦略立案において、知っておくべき必須コンテンツが満載です。

特別展示は西3ホールに

特別展示は西3ホール(4階)入口入ってすぐのところにあり、パネル、映像、寸劇などにより、技術やアーキテクチャーの世界規模での潮流を分かり易く解説しております。ぜひお立ち寄りください!

第4次産業革命 — つながる化



コンテンツサマリ

■ 世界の潮流

米国はGEを中心に「Industrial Internet」を推進し、ドイツは製造業振興策として「Industrie 4.0」を推進しています。世界を渦巻く技術そしてアーキテクチャーの潮流を最新のトピックスとともにご紹介いたします。

■ 日本の政策動向

世界的な潮流を受け、科学技術分野では「総合科学技術イノベーション会議」、産業政策では「産業構造審議会/新産業構造部会」、製造業政策では「ロボット革命実現会議」が動き出しています。ここでは日本の政策の最新動向をサマライズいたします。

■ 民間の動向

民間では「インダストリアル・バリューチェーン・イニシアティブ」、「ロボット革命イニシアティブ協議会」、産学官の連携拠点「IoT推進ラボ」の創設など、本年に入りいくつかのキープレイヤーが動き出しました。2015年の動きを総括します。

■ 世界の標準化

「つながる化」を牽引してきたのは世界規模での標準化です。国や文化を超えた標準化の成功がIoTを支えます。ここではIEC(国際電気標準会議)、ISO(国際標準化機構)、IEEE-SA(米国電気電子学会規格協会)の2015年の動向を報告いたします。

■ ものづくりにおける「つながる化」とは

プロダクト・ライフサイクルの工程間の相互連携(水平連携)、経営から生産管理、現場の制御や機器との連携(垂直連携)が新たな段階に突入しました。つながる化を推進するあらたなフレームワークを解説いたします。

■ 技術の進化と将来像

オートメーション技術、情報処理技術はそれぞれに進化をしながら発展し、今日では社会や経営の階層からセンサ、アクチュエータの階層までがネットワークでつながりました。そして今、それらが階層を超えて融合することで、これまでにない可能性を生み出そうとしています。ここでは近未来の姿を大胆に予測していきます。

基調講演

【会場】会議棟 レセプションホールB

12月2日 水 11:00～12:00

現場と経営・社会をつなぐモノづくりの革新 ～日立が考える第4次産業革命～

講師

日立製作所
執行役副社長
情報・通信システムグループ長
兼 情報・通信システム社社長
齊藤 裕 氏



さまざまな現場機器がネットワークにつながり、情報システムと制御システムの連携がますます強まっていきます。本講演では、異種システムからIoTで得られるデータがモノづくりの現場や経営にどのような革新をもたらす、その先の社会にどのような価値を生むのか、日立の最新の取り組みを交え述べます。

特別講演

【会場】会議棟 101会議室／会議棟 レセプションホールB

12月2日 水 12:30～13:30 101会議室

政府のサイバーセキュリティ戦略について

講師

内閣官房
内閣参事官
内閣サイバーセキュリティセンター
藤田 清太郎 氏



企業や個人の活動領域がサイバー空間に広がる中、IoT機器から制御系機器までサイバー攻撃の脅威も拡散しています。政府では、サイバーセキュリティ基本法に基づく新戦略の策定を始め重要インフラ事業者との情報共有や連携等の取組を強化しています。政府における政策の総合調整を行う内閣サイバーセキュリティセンターの視点から、最新の取組状況や今後の方向性について紹介します。

12月3日 木 11:00～12:00 レセプションホールB

日本型ものづくり第4次産業革命 ～日本産業復活のカギはIoT～

講師

東京大学大学院経済学研究科
ものづくり経営研究センター
特任研究員
吉川 良三 氏



日本が再び世界で輝きを取り戻すためには今までと異なった視点で新しいビジネスを産み出すことです。「少子高齢化」、「地方の活性化」、「女性の活用」などの問題はビジネスチャンスです。「衣・食・住居」から「医・介護・職・住民」へこのIoTのコンセプトが日本の明るい未来を作る切り札になると考えています。

12月4日 金 11:00～12:00 レセプションホールB

「GEのインダストリアル・インターネット戦略」

講師

日本GE
専務執行役員
田中 豊人 氏



GEが提唱をしている「インダストリアル・インターネット」とは何か、また、製造業であるGEが今、ソフトウェア事業に注力しようとしている背景や全体戦略、海外事例、また、日本での取り組みについてご説明します。

特別セッション

【会場】会議棟 レセプションホールB

12月3日 木 14:30～16:00

第4次産業革命で工場が変わる、社会が変わる

ドイツのIndustrie4.0や米国のIndustrial Internetなどの、いわゆる“第4次産業革命”と称される「ものづくりの大きな変化」が起こりつつあります。従来のものづくりと何が違うのでしょうか？我々の社会はどう変わるのでしょうか？「マスカスタマイゼーション」「IoT / つながる化」というキーワードに沿って、経営者が肌で感じる、日本のものづくりが直面する変化と危機感、さらには将来への展望について、各界の第一人者を招き、熱く議論します。

【ご登壇者】

1

法政大学
デザイン工学部 教授
西岡 靖之 氏



2

未来調達研究所
坂口 孝則 氏



3

武州工業
代表取締役
林 英夫 氏



4

アシスタント
フリーアナウンサー
石原 愛美 氏



講演会・セミナーの最新情報、受講申込は
こちらから⇒SCF 公式サイト <http://scf.jp/>



講演会・セミナーの最新情報、受講申込は
こちらから⇒計測展 公式サイト <http://jemima.or.jp/tokyo/>



※講演時間、講演者、講演内容などは都合により予告無く変更する場合があります。 ※満席になりましたら事前および当日申込受付を終了する場合があります。なお、空席がある場合は、当日の申込も可能ですので会場に直接お越しください。 満席の場合は入場できない場合があります。 ※講演企業/団体および協賛企業/団体が自社の競合もしくは同業者と判断した場合、当日のご受講をお断りさせていただきます。予めご了承ください。 当日受講の際、お名刺のご提出をいただきます。予めご準備の上、会場にお越しください。

ATRIUM STAGE

トークショー進行役



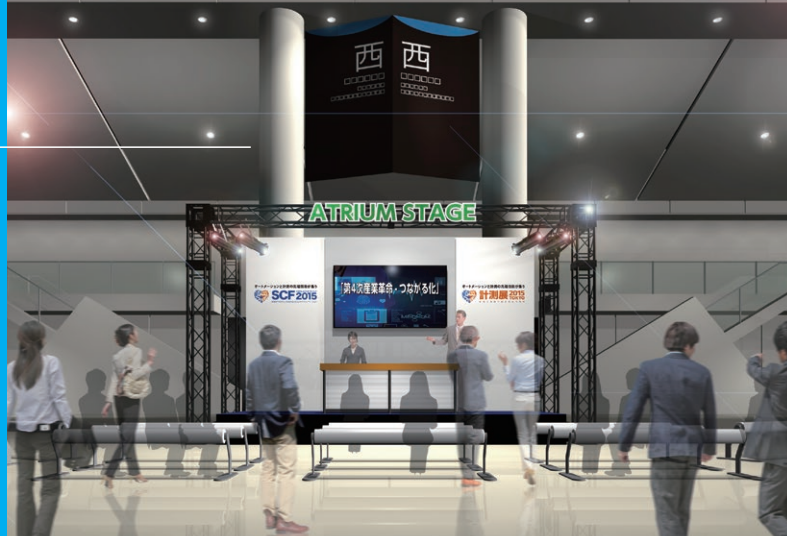
伊藤里奈

フリーアナウンサー
テレビ朝日「ワイドスクランブル」、
フジテレビ「スーパーニュース」のリポーターなど



石原愛美

フリーアナウンサー
テレビ朝日「スーパー」チャンネル、
テレビ東京「ニトリインフォマーシャル」のリポーターなど



西ホール中央のアトリウムにステージを設置。展示会を10倍楽しむための情報発信基地として、展示ブースの見どころ、カンファレンスの聴きどころをトークショーにて紹介してゆきます。

更に知的好奇心を満たすホットなトピックスを取材VTRを織り交ぜて解説。ステージの様子は会場内に設置したサイネージに中継される他、インターネットにも配信されます。お楽しみに！

テーマステージ Theme Stage

IoT/M2Mが実現する未来の工場～多能工化する、つながるロボット～

大量生産から多品種少量生産へ変化する時代に、反復作業だけのロボットは能力不足。人と同じような技と臨機応変な動きが、ロボットにも求められます。産業用ロボットの最前線から、多能工化^{あした}し、未来につながるロボット技術を紹介します。

IoTは計測技術から～新たな価値を生み出す、つながるセンサ～

全ては計測をすることから始まる…。計測をした値に対し制御が行われ、その結果が再び計測されて制御系にフィードバックされる。この物理現象をデータに変換する「計測」という行為こそがIoTを支えていると言っても過言ではありません。計測することの価値を興味深いトピックスとともに紹介いたします。

ものづくりの現場で輝く女性～ダイバーシティが実現する、つながる世界～

一億総活躍社会実現のためには、働く人のダイバーシティ(多様化)が不可欠。特に女性の持つ力は、最大の可能性を持っています。いま、ものづくりの現場でも女性ならではの能力を発揮しています。各企業の現場で輝いている女性にご登壇いただき、お話を伺います。

アトリウムステージ “タイムテーブル” Atrium Stage “TimeTable”

	12月2日(水)	12月3日(木)	12月4日(金)
11:00～11:30		モーニングセッション	モーニングセッション
11:30～12:00	モーニングセッション	IoT/M2Mが実現する未来の工場	IoT/M2Mが実現する未来の工場
12:00～12:30	IoT/M2Mが実現する未来の工場 ^{あした}	IoTは計測技術から	IoTは計測技術から
12:30～13:00	ものづくりの現場で輝く女性	ものづくりの現場で輝く女性	ものづくりの現場で輝く女性
13:00～13:30	安全功労賞表彰式(向殿安全賞)	アフタヌーンセッション	アフタヌーンセッション
13:30～14:00	一般社団法人 日本電気制御機器工業会 セーフティアセッサ協議会	インフォメーション	インフォメーション
14:00～14:30	インフォメーション	インフォメーション	ものづくりの現場で輝く女性
14:30～15:00	IoTは計測技術から	IoTは計測技術から	IoT/M2Mが実現する未来の工場 ^{あした}
15:00～15:30	インフォメーション	インフォメーション	インフォメーション
15:30～16:00	ものづくりの現場で輝く女性	ものづくりの現場で輝く女性	ものづくりの現場で輝く女性
16:00～16:30	IoT/M2Mが実現する未来の工場 ^{あした}	IoTは計測技術から	IoT/M2Mが実現する未来の工場 ^{あした}
16:30～17:00	IoTは計測技術から	IoT/M2Mが実現する未来の工場 ^{あした}	IoTは計測技術から

*タイムテーブルは予告なく変更される場合がございますので、あらかじめご了承ください。

講演会・セミナータイムテーブル

基調講演、特別講演、特別セッション、IoTセッション、テーマセミナー、スポンサード・セッション 【会議棟 1階】			SCF技術講演会 NECA主催特別セミナー JEMIMA委員会セミナー 【西ホール 2階】			
レセプションホールB 300名		101会議室 100名	102会議室 100名	セミナー会場 S【西1商談室(2)】 70名会場	セミナー会場 J【西1商談室(6)】 70名会場	
12月2日水	10:00					
	11:00	【基調講演】 11:00~12:00 「現場と経営・社会をつなぐモノづくりの革新 -日立が考える第4次産業革命-」 齊藤 裕氏			【JEMIMA】 11:00~12:30 電子測定器委員会委員他 「パワーエレ市場で活躍する測定装置 とその選び方のポイント(仮)」 電子測定器委員会	
	12:00			【SCF】 12:00~12:50 東芝 「東芝二次電池SCiB™ 製品 ラインアップと将来の展望(仮)」		
	13:00	【スポンサード・セッション】 13:00~14:00 三菱電機 「ものづくりの未来を支えるFA統合 ソリューション e-F@ctory」	【特別講演】 12:30~13:30 「政府のサイバーセキュリティ戦略について」 内閣官房 内閣参事官 藤田清太郎氏	【SCF】 13:00~13:50 明電舎 「高効率・小型化に向けた 高圧インバータの技術開発」	【JEMIMA】 13:30~16:00 経済産業省 他 「広がる校正サービス2015 ~計量標準の利用促進と 新たなJCSS~」 校正事業推進委員会	
	14:00			【NECA】 14:00~15:40 「向殿安全賞受賞記念講演並びに セーフティアセツ資格制度の概要」		
	15:00	【スポンサード・セッション】 14:30~16:30 FieldComm Group 「世界のプロセス産業ユーザが語る IIoT/ スマートマニュファクチャリングの姿」 (同時通訳あり)		【NECA】 15:50~16:40 NECA制御盤安全WG 「太陽光発電設備における直流電気事 故対策並びに電気安全ガイドブック」		
17:00						
12月3日木	10:00					
	11:00	【特別講演】 11:00~12:00 「日本型ものづくり第4次産業革命」 東京大学大学院 経済学研究科 吉川 良三氏	【IoTセッション】 10:30~11:30 ドイツ電気・電子工業連盟(ZVEI)(同時通訳あり) Johannes Kirsch氏	【スポンサード・セッション】 10:30~13:30 日本マイクロソフト 「M2MとCloudの融合で実現する インダストリアルIoTの世界とは - マイクロソフトのIoTの取組みと 最新IoTテクノロジー - 」	【SCF】 11:00~11:50 アズビル 「センサー、コントローラーの新しい方向性」	【JEMIMA】 11:00~13:00 ABB日本ベレー他4社 「制御システムセキュリティ向上 に向けた取組み」他3テーマ PA・FA計測制御委員会
	12:00		【IoTセッション】 11:40~12:40 Industrial Internet Consortium(同時通訳あり) Stephen Mellor氏		【SCF】 12:00~12:50 富士電機 「富士電機のワンストップIoTソリューション」	
	13:00				【SCF】 13:00~13:50 三菱電機 「iQ PlatformでFactory Automationを驚く」	【JEMIMA】 13:30~15:00 東京大学 「IIoT (Internet of Things)のための センシングと無線給電技術」 戦略的基盤技術検討委員会
	14:00		【スポンサード・セッション】 13:30~16:30 日立製作所 「IIoTでつながる社会の ビジネスイノベーションとは何か」	【スポンサード・セッション】 14:15~16:30 横河電機・横河ソリューションサービス 「YOKOGAWAとCISCOが共に語る。 IIoTによる価値共創 」	【SCF】 14:00~14:50 IDEC 「オートメーション/システム化技術に よる環境保全型農業の実現に向けて(仮)」	
	15:00	【特別セッション】 14:30~16:00 「第4次産業革命で工場が変わる、 社会が変わる」 西岡 靖之氏 坂口 孝則氏 林 英夫氏			【SCF】 15:00~15:50 パナソニックデバイスSUNX 「PLCにおける情報系アプリケーション強化について」	
17:00						
12月4日金	10:00					【JEMIMA】 10:30~12:30 堀場製作所・アンリツ・浜松ホトニクス 「製品含有化学物質規制 基礎セミナー」 環境グリーン委員会
	11:00	【特別講演】 11:00~12:00 「GEのインダストリアル・インターネット戦略」 日本GE	【テーマセミナー】 10:30~12:30 IEC TC65国内委員会 + JEMAスマート マニュファクチャリング特別委員会 「Industry 4.0 - Smart Manufacturing ワークショップ(仮)」		【SCF】 11:00~11:50 安川電機 「アンブ一体モータを実現する要素技術」	
	12:00				【SCF】 12:00~12:50 オムロン 「Sysmacの進化が制御を変える」	
	13:00	【テーマセミナー】 13:00~15:30 横河電機・日産自動車・三井化学他 「IIoTを支える制御システム セキュリティ」	【スポンサード・セッション】 13:00~16:00 アズビル 「IIoTはこう使う！フリーアナウンサー 草野清代氏が迫るエネルギー マネジメント最前線」	【スポンサードセッション】 13:00~14:00 富士通 「富士通が考える次世代ものづくりICTについて ものづくり革新アーキテクチャと「つながる工場」」	【SCF】 13:00~13:50 日立製作所 「共生自律分散で実現するつながる 工場と新産業ソリューション」	【JEMIMA】 13:00~14:30 アズビル・横河電機・三菱電機 「IIoTと計測・制御技術で実現する 工場とコミュニティのエネルギー最適利用」 エネルギー・低炭素政策委員会
	14:00			【テーマセミナー】 14:30~15:30 日本電機工業会 スマートマニュファクチャリング特別(委) 「製造業の将来像検討の中間報告」	【NECA】 14:00~15:30 NECA環境委員会 「環境セミナーRoHS基礎講座」	【JEMIMA】 14:45~16:45 アズビル・東芝 「IIoTを支える国際標準の最新動向」 IEC TC65 国内委員会
	15:00					
17:00						

出展者セミナー
【展示ホール内セミナー会場 西ホール 4階】

セミナー会場 A		セミナー会場 B	セミナー会場 C	セミナー会場 D	セミナー会場 E
80名会場		80名会場	80名会場	80名会場	80名会場
12月2日 水	12:00 ～12:20	アース(チノグループ会社) 「低消費電力マルチホップによる無線センサシステムとその応用事例」	島津システムソリューションズ 「現場の「声」に応える制御システム METRIS-G4 Plus」	GEエナジージャパン 「GE Predixによるアセット・マネジメントソリューション」	堀場製作所 「HORIBAによる正確なpH測定の新ノウハウ解説!!」
	12:30 ～13:20	エヌエフ回路設計ブロック 「LCRメータを用いた電子部品のインピーダンス測定」	オムロン 「小型化技術 活用による産業機器の信頼性向上」	【テーマ枠: エネルギー・環境】 富士電機 「クラウド型総合設備管理システムの当社事例」	【テーマ枠: セキュリティ・安全】 フェニックス・コンタクト 「mGuardによる産業通信セキュリティ」
	13:30 ～14:20	エクシダ・ジャパン 「IEC 61508製品認証の進め方」	日立ハイテクソリューションズ 「制御システムセキュリティと保守・メンテナンス効率化(仮)」	【テーマ枠: エネルギー・環境】 東芝三菱電機産業システム 「ユニークで確実なメリットのある省エネ事例と補助金活用のご紹介」	【テーマ枠: セキュリティ・安全】 横河ソリューションサービス 「安全計装システム導入に関わる最新事情(必要性の高まりと動向)」
	14:30 ～15:20	シーメンス 「ネットワークから支えるエネルギー環境と安全」	富士電機 顧客招待セミナー	フェニックス・コンタクト 「Tanshidai 4.0」	CC-Link協会 「IoT時代のFA統合ネットワーク CC-Link IE」
	15:30 ～16:20	たけびし 「第4次産業革命の中核技術OPC UAによるIoTシステム導入」	センサ工房ねっと 「IoT時代を先取りする「センサの診える化」革命」 エニイワイヤ提供	エヌエフ回路設計ブロック 「周波数特性分析器(FRA)によるスイッチング電源の安定性評価」	横河電機 「完成! エネルギーと品質のベストバランスを実現するモデル化技術」
12月3日 木	11:00 ～11:50	三菱電機 「e-F@ctoryで実現するエネルギー管理と省エネ推進」	ISA100 Wireless Compliance Institute 「ISA100 Wireless 技術紹介」	エクシダ・ジャパン 「IEC61511機能安全規格のプロセスへの適用」	エヌエフ回路設計ブロック 「高速バイポーラ電源の原理と応用」
	12:00 ～12:20	チノー 「水素社会におけるチノーのセンサ・測定・評価技術の取り組み」	GEセンシング&インスペクション・テクノロジー 「ガス中の微量水分管理のための小型・高速・高感度な微量水分計」	シュメアザール日本本社 「IEC 61800-5-2 安全ドライブシステムとその適用」	島津システムソリューションズ 「国内初 現地における流量計のJCSS校正」
	12:30 ～13:20	ヒルシャー・ジャパン 「フィールドネットワークからIBM BlueMixクラウドへの接続を実現」	日本フィールドコムグループ 「フィールドコムグループ最新技術動向」(仮)	【テーマ枠: エネルギー・環境】 日立産機システム 「IoT時代の遠隔モニタリングシステムへの取り組み(仮)」	【テーマ枠: セキュリティ・安全】 フェニックス・コンタクト 「次世代の世界最小幅セーフティリレーユニットPSRmini」
	13:30 ～14:20	安川電機 「YASKAWA AC DRIVEのご紹介(仮)」	ノーケン 「最新のレベルセンシング技術～電波法に基づくレーダー計測～」	【テーマ枠: エネルギー・環境】 横河ソリューションサービス 「IoTで工場、地域をつないだエネルギー全体最適化(CEMS)のご紹介」	【テーマ枠: セキュリティ・安全】 アズビル 「緊急遮断弁のPSTによるプラント安全操業とメンテナンス効率化」
	14:30 ～15:20	CC-Link協会 「IoT時代のFA統合ネットワーク「CC-Link IE」」	フェニックス・コンタクト 「プリント基板用コネクタ・端子台の技術と市場動向」	アズビル 「急速に拡大するHART機器のメリットを最大化する方法」	エヌエフ回路設計ブロック 「低周波のEMC規格試験～「IEC 61000-4-13」「IEC 61000-4-34」」
12月4日 金	15:30 ～16:20	ハーティング 「産業用RFID製品とRFIDタグを応用した1センサー無線化」	Balluff GmbH 「IO-Linkが支えるIndustry4.0の実現」(通訳あり)	富士電機 顧客招待セミナー	IDEC 「国際安全規格(ISO14119)の改定と対応について」
	11:00 ～11:50	三菱電機 「理想のもののづくり環境の構築をめざす三菱駆動ソリューション」	国内エンドユーザ企業 「エンドユーザ様によるISA100 Wireless導入事例紹介」 ISA 100 Wireless Compliance提供	エクシダ・ジャパン 「コントロールシステムにおけるサイバーセキュリティ」	アズビル 「触れずに測る、非接触速度のイノベーション技術紹介」
	12:00 ～12:20	PLCopen 「進化を続けるPLCの国際標準プログラミング」	東朋テクノロジー 「産業用途のための次世代高速電力線通信」	GEセンシング&インスペクション・テクノロジー 「ガス中の微量水分管理のための小型・高速・高感度な微量水分計」	堀場アドバンステクノ 「クラウド活用による水質計測器のメンテナンス低減」
	12:30 ～13:20	ベッコフオートメーション 「インダストリー4.0最前線: オープン規格とPC制御で実現」	シーメンス 「バーチャルな設計とリアルな動作を結び製造前に生産性向上を実現」	FDTグループ 日本本社 「急速に拡大するHART機器のメリットを引き出すFDT技術」	横河電機グループ 「プロセス製造業におけるIoTの取り組みと事例のご紹介」
	13:30 ～14:20	HMSインダストリアルネットワークス 「IIoT、Industrie 4.0を支えるネットワークソリューション」	オムロン 「制御盤トレンドとオムロンの取り組み」	ジェイティ エンジニアリング 「制御システムのサイバー攻撃対策におけるCSMSの重要性」	横河電機グループ 「広域温度監視を隙間なく新たな統合型温度監視ソリューション」
12月4日 金	14:30 ～15:20	アラクサラネットワークス 「制御システムセキュリティの脅威と今すぐできるネットワーク対策」	富士電機 顧客招待セミナー	CC-Link協会 「IoT時代のFA統合ネットワーク「CC-Link IE」」	安川シーメンス オートメーション・ドライブ 「エネルギーの新しい有効活用～環境保護とコスト削減の両立～」
					東芝 「進化し続ける東芝の産業用コントローラとコンピュータ(仮)」

テーマ枠は「エネルギー・環境」「セキュリティ・安全」「ICT・イノベーション」の3テーマ。

展示会場フロアマップ

大学・高専テクニカルアカデミー研究発表

西ホール
1F

システムコントロールフェア 2015

S1-23 三菱電機(株)

A-01 A-02 A-03 A-04 A-05 A-06

A-07 A-08 A-09 A-10 A-11 A-12 A-13 A-14

S1-41 山洋電気(株)

S1-22 三菱日立パワーシステムズ(株)/ (株)MHPSコントロールシステムズ

S1-21 三菱電機システムサービス(株)

S1-24 三菱電機エンジニアリング(株)

S1-28 シュメアザール日本支社

S1-31 HMSインダストリアルネットワークス(株)

S1-34 スズデン(株)

S1-36 日鉄住金テックスエンジニア(株)

S1-37 イルメジャパン(株)

S1-38 春日電機(株)

S1-40 Weintek Labs. Inc.

S1-20 シーメンス(株)/ 安川シーメンスオートメーション・ドライブ(株)

S1-19 東洋技研(株)

S1-18 ビルツジャパン(株)/ セーフティネットワークジャパン

S1-17 profichip GmbH

S1-16 ワゴジャパン(株)

S1-15 IDEC(株)

S1-14 (株)エニワイヤ

S1-13 (株)エム・システム技研/ (株)ステップテクニカ

S1-12 B&R Industrial Automation(株)

S1-11 EtherCAT Technology Group

S1-09 フジコン(株)

S1-08 アラクサラネットワークス(株)

S1-07 (株)サンミュロン

S1-06 ニチブ(株)

S1-05 (株)明電舎

S1-04 オリエンタルモーター(株)

S1-03 (株)パトライト

S1-02 (株)図研

S1-01 オムロン(株)

DEGSON ELECTRONICS CO.,LTD. (株)アルゴシステム

ケプウェア・ジャパン(株)/ (株)関東エルエンジニアリング

S1-25 S1-26 S1-29 S1-32 (株)ソルトン

S1-35 ウェリンテック・ジャパン(株)

S1-39 共立機器(株)

有料商談室

■大学・高専 テクニカルアカデミー研究発表出展校リスト

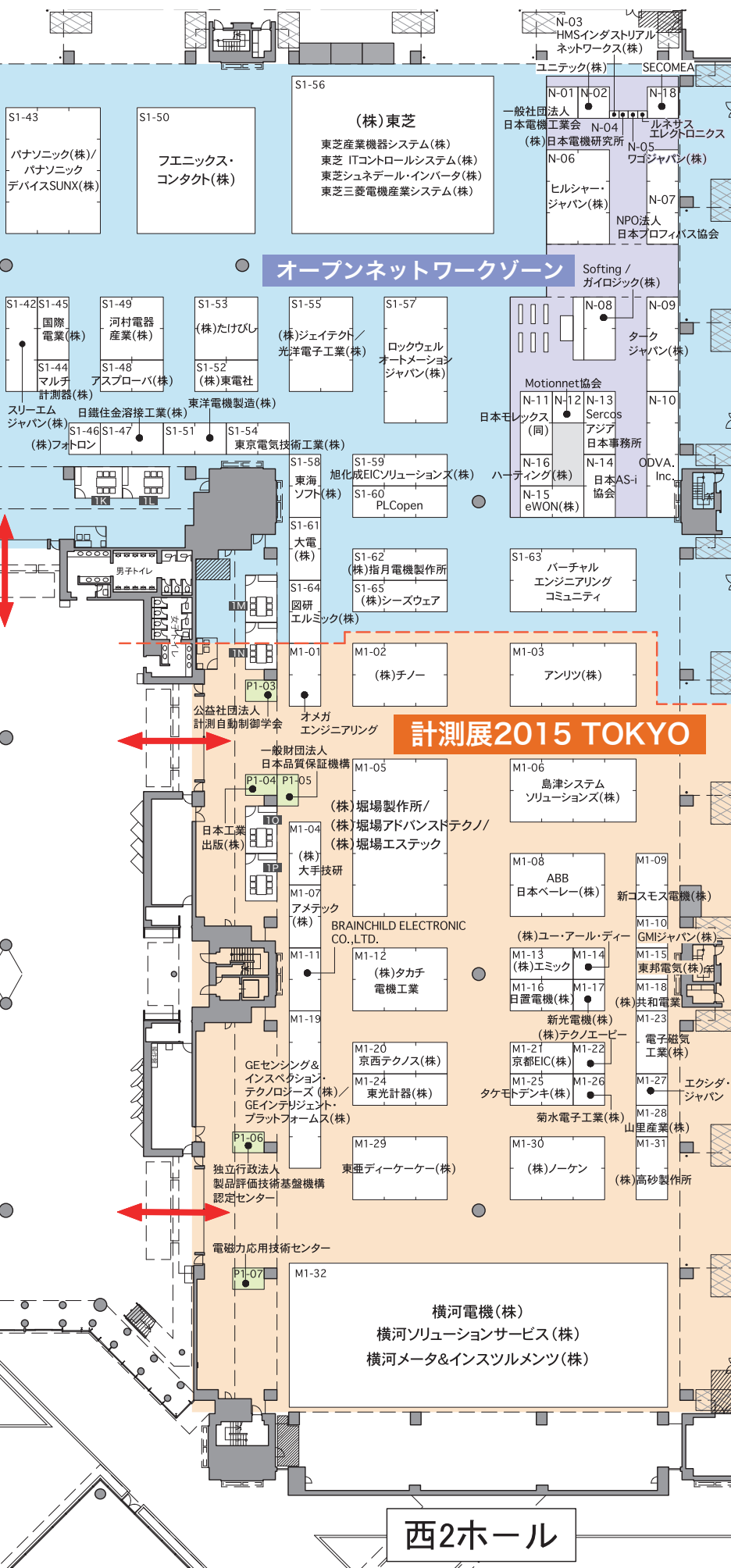
小題番号	学校名
A-01	久留米工業高等専門学校
A-02	津山工業高等専門学校
A-03	愛知工業大学
A-04	三重大学
A-05	新居浜工業高等専門学校
A-06	東京工業大学
A-07	長岡技術科学大学
A-08	電気通信大学
A-09	鶴岡工業高等専門学校・全国KOSEN ICT農業研究会
A-10	千葉大学大学院
A-11	慶應義塾大学
A-12	神奈川工科大学
A-13	群馬工業高等専門学校
A-14	長岡技術科学大学

アトリウムステージ

大抽選会・スタンプラリー会場

事前・当日登録者受付

西1ホール



SCF2015 出展者一覧

- | | |
|---------------------------------|--------------------------------------|
| S1-15 IDEC 株式会社 | S1-53 株式会社 たけひし |
| S1-59 旭化成 EIC シリレーションズ 株式会社 | S1-26 DEGSON ELECTRONICS CO.,LTD. |
| S1-48 アスプローバ 株式会社 | S1-33 株式会社 テクノ |
| S1-08 アラクサラネットワークス 株式会社 | S1-58 東海ソフト 株式会社 |
| S1-29 株式会社 アルゴシステム | S1-54 東京電機技術工業 株式会社 |
| S1-11 EtherCAT Technology Group | S1-56 株式会社 東芝 |
| S1-37 イルメジャパン 株式会社 | S1-56 東芝産業機器システム 株式会社 |
| S1-40 Weintek Labs. Inc | S1-56 東芝 IT コントロールシステム 株式会社 |
| S1-35 ウェリントン・ジャパン 株式会社 | S1-56 東芝 システム・インバータ 株式会社 |
| S1-31 HMS インダストリアルネットワークス 株式会社 | S1-56 東芝三菱電機産業システム 株式会社 |
| S1-14 株式会社 エニイワイ | S1-52 株式会社 東電社 |
| S1-22 株式会社 MHP5 コントロールシステムズ | S1-19 東洋技研 株式会社 |
| S1-13 株式会社 エム・システム技研 | S1-51 東洋電機製造 株式会社 |
| S1-27 オーム電機 株式会社 | S1-06 株式会社 ニチフ |
| S1-01 オムロン 株式会社 | S1-36 日鉄住金テックスエッジ 株式会社 |
| S1-04 オリエンタルモーター 株式会社 | S1-47 日鐵住金溶接工業 株式会社 |
| S1-38 春日電機 株式会社 | S1-10 日東工業 株式会社 |
| S1-49 河村電器産業 株式会社 | S1-63 パーチャル エンジニアリング コミュニティ |
| S1-25 株式会社 関東エルエンジニアリング | S1-03 株式会社 バトライト |
| S1-39 共立機研 株式会社 | S1-43 パナソニック 株式会社 |
| S1-25 ケブウェア・ジャパン 株式会社 | S1-43 パナソニック デバイス SUNX 株式会社 |
| S1-55 光洋電子工業 株式会社 | S1-12 B&R Industrial Automation 株式会社 |
| S1-45 国際電業 株式会社 | S1-60 PLCopen |
| S1-28 サテック | S1-18 ビルツジャパン 株式会社 |
| S1-07 株式会社 サンミューロン | S1-50 フェニックス・コンタクト 株式会社 |
| S1-41 山洋電気 株式会社 | S1-46 株式会社 フォロン |
| S1-65 株式会社 シーズウェア | S1-09 フジコン 株式会社 |
| S1-20 シーメンス 株式会社 | S1-17 profichip GmbH |
| S1-55 株式会社 ジェイテクト | S1-44 マルチ計測器 株式会社 |
| S1-62 株式会社 指月電機製作所 | S1-23 三菱電機 株式会社 |
| S1-28 シュエアザール日本支社 | S1-24 三菱電機エンジニアリング 株式会社 |
| S1-02 株式会社 図研 | S1-21 三菱電機システムサービス 株式会社 |
| S1-64 図研エルミック 株式会社 | S1-22 三菱電機パワーシステムズ 株式会社 |
| S1-34 スズデン 株式会社 | S1-05 株式会社 明電舎 |
| S1-13 株式会社 ステップテクノ | S1-20 安川シーメンス オートメーション・ドライブ 株式会社 |
| S1-42 スリーエムジャパン 株式会社 | S1-57 ロックウェル オートメーション ジャパン 株式会社 |
| S1-18 セーフティネットワークジャパン | S1-16 ワゴジャパン 株式会社 |
| S1-32 株式会社 ソルトン | S1-30 株式会社 ワコム |
| S1-61 大電 株式会社 | 富士通 株式会社 |

計測展2015 TOKYO 出展者一覧

- | | |
|--------------------------------------|--------------------------------------|
| M1-07 アメテック 株式会社 | M1-12 株式会社 タカチ電機工業 |
| M1-03 アンリツ 株式会社 | M1-25 タクモデンキ 株式会社 |
| M1-08 ABB 日本ベレー 株式会社 | M1-02 株式会社 チノー |
| M1-27 エクシダ・ジャパン | M1-22 株式会社 テクノエービー |
| M1-13 株式会社 エミツ | M1-23 電子磁気工業 株式会社 |
| M1-04 株式会社 大手技研 | M1-29 東亜ディーケーケー 株式会社 |
| M1-01 オメガエンジニアリング | M1-24 東光計器 株式会社 |
| M1-26 菊水電子工業 株式会社 | M1-15 東邦電気 株式会社 |
| M1-20 京西テクノス 株式会社 | M1-19 日本ドレッサー 株式会社 |
| M1-21 京都 EIC 株式会社 | M1-30 株式会社 ノーケン |
| M1-18 株式会社 共和電業 | M1-16 日置電機 株式会社 |
| M1-19 GE インテリジェント・プラットフォームシステム株式会社 | M1-11 BRAINCHILD ELECTRONIC CO.,LTD. |
| M1-19 GE エナジー・ジャパン株式会社 | M1-05 株式会社 堀場製作所 |
| M1-19 GE センシング&インスベクション・テクノロジーズ 株式会社 | M1-05 株式会社 堀場アドバンスドテクノ |
| M1-10 GMV ジャパン 株式会社 | M1-05 株式会社 堀場エステック |
| M1-06 島津システムソリューションズ 株式会社 | M1-28 山形産業 株式会社 |
| M1-17 新光電機 株式会社 | M1-14 株式会社 ユー・アール・ディー |
| M1-09 新コスモス電機 株式会社 | M1-32 横河ソリューションサービス 株式会社 |
| M1-31 株式会社 高砂製作所 | M1-32 横河電機 株式会社 |
| | M1-32 横河メータ&インスツルメンツ 株式会社 |

オープンネットワークゾーン

- | | |
|-------------------------------|------------------------|
| N-15 eWON 株式会社 | N-01 一般社団法人 日本電機工業会 |
| N-03 HMS インダストリアルネットワークス 株式会社 | N-07 NPO 法人 日本プロフィス協会 |
| N-10 ODVA, Inc. | N-11 日本モックス 合同会社 |
| N-08 ガイロジック 株式会社 | N-16 ハーディング 株式会社 |
| N-13 Sercos アジア 日本事務所 | N-06 ヒルシャー・ジャパン 株式会社 |
| N-18 SECOMEA | N-12 Motionnet 協会 |
| N-08 softing | N-02 株式会社 ユニテック |
| N-09 ターク・ジャパン 株式会社 | N-17 ルネサス エレクトロニクス株式会社 |
| N-14 日本 AS-i 協会 | N-05 ワゴジャパン 株式会社 |
| N-04 株式会社 日本電機研究所 | |

出版・報道・公共団体

- | | |
|------------------------|--------------------------------|
| P1-01 オートメーション新聞 (計測展) | P1-02 株式会社 インコム |
| P1-03 公益社団法人 計測自動制御学会 | P1-06 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 認定センター |
| P1-04 日本工業出版 株式会社 | P1-07 電磁応用技術センター |
| P1-05 一般社団法人 日本品質保証機構 | |

大学・高専テクニカルアカデミー研究発表

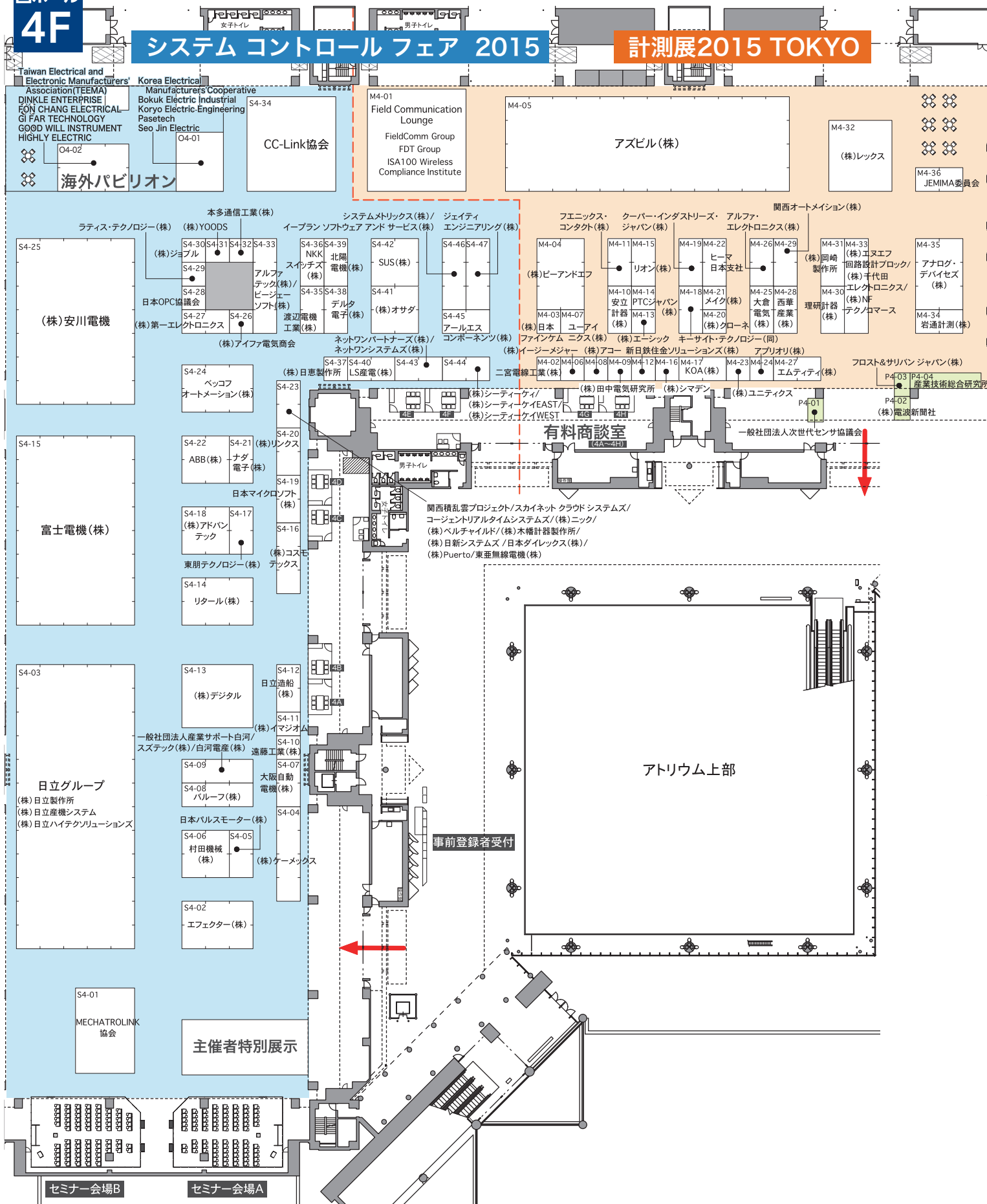
- | | |
|-----------------|-----------------------------------|
| A-3 愛知工業大学 | A-9 鶴岡工業高等専門学校・全国 KOSEN ICT 農業研究会 |
| A-12 神奈川工科大学 | A-8 電気通信大学 |
| A-1 久留米工業高等専門学校 | A-6 東京工業大学 |
| A-13 群馬工業高等専門学校 | A-7 長岡技術科学大学 (エネルギー・環境工学) |
| A-11 慶應義塾大学 | A-14 長岡技術科学大学 (カオス・フラクタル情報理工学) |
| A-10 千葉大学 大学院 | A-5 新居浜工業高等専門学校 |
| A-2 津山工業高等専門学校 | A-4 三重大学 |

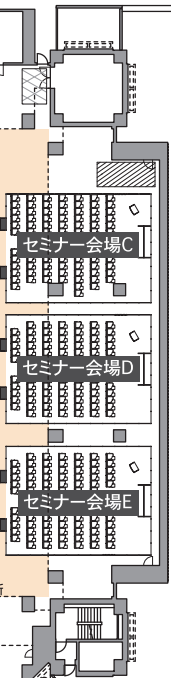
展示会場フロアマップ

西ホール
4F

システムコントロールフェア 2015

計測展2015 TOKYO





SCF2015 出展者一覧

S4-45 アールエスコポネッツ 株式会社	S4-23 東亜無線電機株式会社
S4-26 株式会社 アイファ電気商会	S4-17 東朋テクノロジー 株式会社
S4-18 株式会社 アドバンテック	S4-21 ナダ電子 株式会社
S4-33 アルファテック 株式会社	S4-23 株式会社 ニック
S4-46 イーブランソフトウェア アンド サービス株式会社	S4-37 株式会社 日恵製作所
S4-11 株式会社 イマジオム	S4-23 株式会社 日新システムズ
S4-22 ABB 株式会社	S4-05 日本バルスモーター 株式会社
S4-42 SUS 株式会社	S4-28 日本 OPC 協議会
S4-36 NKKスイッチズ 株式会社	S4-23 日本ダイレックス株式会社
S4-02 エフエクター 株式会社	S4-19 日本マイクロソフト株式会社
S4-40 LS産電 株式会社	S4-43 ネットワンパートナーズ 株式会社
S4-10 遠藤工業 株式会社	S4-43 ネットワンシステムズ株式会社
S4-07 大阪自動車機 株式会社	S4-08 バルーフ 株式会社
S4-41 株式会社 オサダ	S4-33 ビージェンソフト株式会社
S4-23 関西機電プロダクト	S4-03 株式会社 日立製作所
S4-04 株式会社 ケーメックス	S4-03 株式会社 日立産機システム
S4-23 コーゼンリアルタイムシステムズ	S4-03 株式会社 日立ハイテクソリューションズ
S4-16 株式会社 コスモテックス	S4-12 日立造船 株式会社
S4-23 株式会社 木崎計器製作所	S4-23 株式会社 Puerto
S4-09 一般社団法人 産業サポート白河	S4-15 富士電機 株式会社
S4-34 CC-Link 協会	S4-24 ベッコフオートメーション 株式会社
S4-44 株式会社 シーティーケイ	S4-23 株式会社 ベルチャイルド
S4-44 株式会社 シーティーケイ EAST	S4-39 北陽電機 株式会社
S4-44 株式会社 シーティーケイ WEST	S4-32 本多通信工業 株式会社
S4-47 ジェティエンジニアリング 株式会社	S4-06 村田機械 株式会社
S4-46 システムメトリックス 株式会社	S4-01 MECHATROLINK 協会
S4-30 株式会社 ジョブル	S4-25 株式会社 安川電機
S4-09 白河電産株式会社	S4-31 株式会社 YOODS
S4-23 スカイネット クラウド システムズ	S4-29 ラティス・テクノロジー 株式会社
S4-09 スズテック株式会社	S4-14 リタール 株式会社
S4-27 株式会社 第一エレクトロニクス	S4-20 株式会社 リンクス
S4-13 株式会社 デジタル	S4-35 渡辺電機工業 株式会社
S4-38 デルタ電子 株式会社	

海外パビリオン

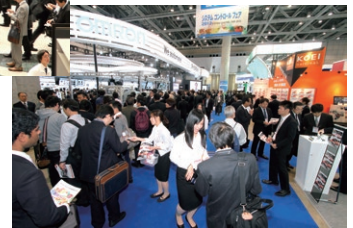
O4-01 Korea Electrical Manufacturers' Cooperative
O4-01 Bokuk Electric Industrial Co. Ltd
O4-01 Koryo Electric Engineering
O4-01 Pasetch Co.Ltd
O4-01 Seo Jin Electric Co. Ltd
O4-02 Taiwan Electrical and Electronic Manufacturers' Association (TEEMA)
O4-02 DINKLE ENTERPRISE CO., LTD.
O4-02 FON CHANG ELECTRICAL CORP.
O4-02 G.FAR TECHNOLOGY CO., LTD.
O4-02 GOOD WILL INSTRUMENT CO., LTD.
O4-02 HIGHLY ELECTRIC CO., LTD.

出版・報道・公共団体

(計測展)
P4-01 一般社団法人 次世代センサ協議会
P4-02 株式会社 電波新聞社
P4-03 フロスト&サリバン ジャパン 株式会社
P4-04 産業技術総合研究所

計測展2015 TOKYO 出展者一覧

M4-01 ISA100 Wireless Compliance Institute	M4-36 JEMIMA 環境グリーン委員会
M4-08 株式会社 アコー	M4-36 JEMIMA 環境計測委員会
M4-05 アズビル 株式会社	M4-36 JEMIMA 校正事業推進委員会
M4-35 アナログ・デバイス 株式会社	M4-36 JEMIMA 製品安全・EMC 委員会
M4-24 アプリオリ株式会社	M4-36 JEMIMA 戦略的基盤技術検討委員会
M4-26 アルファ・エレクトロニクス 株式会社	M4-36 JEMIMA 電子測定器委員会
M4-10 安立計器 株式会社	M4-16 株式会社 シマデン
M4-06 株式会社 イージーメジャー	M4-12 新日鉄住金ソリューションズ 株式会社
M4-34 岩通計測 株式会社	M4-28 西摩産業 株式会社
M4-13 株式会社 エーシック	M4-09 株式会社 田中電気研究所
M4-33 株式会社 エヌエフ回路設計ブロック	M4-33 株式会社 千代田エレクトロニクス
M4-33 株式会社 NFテクノマース	M4-02 二宮電線工業 株式会社
M4-08 FDT Group	M4-03 株式会社 日本ファインケム
M4-27 エムティティ 株式会社	M4-04 株式会社 ビーアンドエフ
M4-25 大倉電気 株式会社	M4-14 PTC ジャパン 株式会社
M4-31 株式会社 岡崎製作所	M4-22 ヒマ日本支社
M4-29 関西オートメーション 株式会社	M4-01 FieldComm Group
M4-18 キーサイト・テクノロジー 合同会社	M4-11 フエニックス・コンタクト 株式会社
M4-19 クーパー・インダストリーズ・ジャパン 株式会社	M4-21 メイク 株式会社
M4-20 株式会社 クローネ	M4-07 ユー・アイニクス 株式会社
M4-17 KOA 株式会社	M4-23 株式会社 ユニテックス
M4-36 JEMIMA 委員会	M4-15 リオン 株式会社
M4-36 JEMIMA IEC TC65 国内対策委員会	M4-30 理研計器 株式会社
M4-36 JEMIMA エネルギー・低炭素政策委員会	M4-32 株式会社 レックス
M4-36 JEMIMA 温度計測委員会	



※出展者一覧は各フロア 各展示会 / ゾーンごとの日本語社名 50 音順

※ブース番号の見方について

ex. S4-03

・1 番目の記号：展示会名または企画ゾーン名

S⇒システム コントロール フェア、M⇒計測展 N⇒オープンネットワークゾーン

A⇒大学・高専 テクニカルアカデミー研究発表 O⇒海外パビリオン

P⇒出版・報道・公共団体

・2 番目の数字：ブースのあるフロア 1⇒1 階 4⇒4 階

・ハイフン (-) 後の 2 桁の数字：ブース番号

ex. S4-03 ⇒「システム コントロール フェア 出展者」「ブースは 4 階」-「ブース番号は 03 番」

キリトリ線

入場者登録欄

すべての項目をご記入ください (名刺貼付可)

名刺貼付欄	ふりがな お名前 (NAME)
	ふりがな 貴社名 (COMPANY)
	所属・役職名 (DEPT./POSITION)
	住所 (ADDRESS)
	〒 -
Phone ()	Country
Fax ()	E-mail

同時開催の展示会「2015 国際ロボット展」との相互入場について

ご来場登録受付でお渡しする「SCF2015・計測展2015 TOKYO」の入場証で、同時開催の「2015国際ロボット展および併催展(同時開催展)」にも入場証のバーコードチェックのみで無料入場が可能です。ただし、個人情報の提供を条件とするセミナー受講等のサービスを受ける際にはあらためて「国際ロボット展」の入場登録により交付された入場証の提示が必要です。あらかじめご了承ください。

●個人情報の取り扱いについて

ご登録いただいた個人情報は、システムコントロールフェア実行委員会(<http://scf.jp/ja/policy/>)及び一般社団法人 日本電気計測器工業会(<http://www.jemima.or.jp/privacy.html>)が策定したプライバシーポリシーにより厳心の注意を払って管理させていただきます。ご登録いただいた個人情報は、本展示会関係のご案内(メール等)、広報の際に利用いたします。

●本展示会では、来場者の便宜のためバーコードシステムを導入しています

講演会、セミナー出展者ブース等で入場証のバーコードが読み込まれた、お客様の個人情報(当該出展者へ提供することと同様の行為となります)で了す承ください。(個人情報の利用範囲につきましては、バーコードシステムを利用する各出展者へ確認いただきますようお願いいたします。)

●写真撮影について

展示会場内では許可のない写真撮影やビデオ撮影を禁止いたします。主催者は開催結果報告書や公式サイトでの展示会レビューに限り、顔写真を含む会場風景写真を使わせていただく場合があります。あらかじめご了承ください。

※下記○欄を必ずチェックしてください(該当項目に✓印)。*Please check (✓) the appropriate box below.

どちらの展示会を目的に来場されましたか。 Which show is the purpose of your visit?

☐ SCF2015と計測展2015 TOKYOの両方 (Both [SCF2015 & Measurement and Control Show 2015 TOKYO])

☐ SCF2015 (SCF2015 only)

☐ 計測展2015 TOKYO (Measurement and Control Show 2015 TOKYO only)

①業種 (Business Category)

- 電機・電子製造業(Electrical Manufacturer)
 - ☐ 電気・電子(Electric / Electronic related) ☐ その他(Others)
- 機械製造業(Machinery Manufacturer)
 - ☐ 機械・工具(Machinery / Tools) ☐ 精密機械(Precision machinery)
 - ☐ 自動車・部品(Automobile / Components) ☐ その他輸送用機器(Other transportation equipment) ☐ その他(Others)
- 製造業(Manufacturer)
 - ☐ 鉄鋼・金属(Iron and steel / Metal) ☐ プラスチック(Plastics) ☐ 繊維・衣料(Fiber / Clothing) ☐ 化学(Chemicals)
 - ☐ 食品・飲料(Foods / Beverages) ☐ その他(Others)
- 非製造業(Non-Manufacturer)
 - ☐ エネルギー(Energy) ☐ 印刷・出版(Printing / Publishing) ☐ 建設・土木(Construction/Civil engineering)
 - ☐ 流通・サービス(Distribution / Service) ☐ 情報・通信(Information / Communication) ☐ 商社(Trading firm)
 - ☐ 金融・保険(Finance / Insurance) ☐ その他(Others)
- 官公庁・団体・学校 (Government or municipal office / Organization / Educational related)
 - ☐ 官公庁・教育機関 (Government or municipal office / Educational related) ☐ 団体・その他 (Organization / Others)
- 報道関係(Media related)
 - ☐ 報道 (Press) ☐ その他(Others)

②職種 (Occupation)

- 研究・開発・設計(Research&Development / Design) ☐ 研究・開発(Research&Development) ☐ 設計(Design)
- 生産技術・製造(Producing technology / Manufacturing) ☐ 生産技術(Producing technology) ☐ 製造(Manufacturing)
- 資材・購買・品質管理・検査(Materials purchasing / Quality control) ☐ 資材・購買(Materials purchasing) ☐ 品質管理・検査(Quality control)
- 営業・販売・宣伝・企画(Sales / Marketing / Advertising / Planning) ☐ 営業・販売(Sales / Marketing) ☐ 宣伝・企画(Advertising / Planning)
- 経営・管理(Business management) ☐ 経営・管理(Business management)
- 情報システム関連(Information System) ☐ 情報システム関連(Information System)
- 官公庁・団体・その他(Others) ☐ 官公庁・団体(Government or municipal office / Organization) ☐ その他(Others)
- 学生(Student) ☐ 学生(Student)

スムーズな入場のため事前登録をお願いいたします

展示会・セミナー事前登録受付中

SCF 2015
<http://scf.jp/>



計測展2015 TOKYO
<http://jemima.or.jp/tokyo/>



講演会・セミナーは事前登録制、受講無料、先着順です。
約120の講演会・セミナー受講申込と最新情報は公式サイトから！

SCF公式サイト



SCF

検索

計測展公式サイト



計測展

検索

SCF公式Facebook
「第4次産業革命」をテーマに情報発信中



Facebook 第4次産業革命

検索

お問い合わせ

システム コントロール フェア2015/計測展2015 TOKYO 運営事務局（日経BP 読者サービスセンター内）
お問合せは公式サイトのお問い合わせフォームよりお願いいたします。
SCF公式サイト <http://scf.jp/> 計測展公式サイト <http://jemima.or.jp/tokyo/>

下記招待券を切り取りご持参下さい。

-----キリトリ線-----

オートメーションと計測の先端技術が集う
システム コントロール フェア

SCF 2015

技術がつながる、未来が拓ける、ものづくりイノベーション
<http://scf.jp/>

計測と制御で創る未来の地球
<http://jemima.or.jp/tokyo/>

計測展 2015 TOKYO

第4次産業革命 IoT/M2Mで世界を変える

260社を超える出展ブースと約120の講演会・セミナー

2015年 12月2日(水)~4日(金) 東京ビッグサイト西1・2・3・4ホール、アトリウム
開催時間/10:00 ~ 17:00
東ホール同時開催「2015国際ロボット展」相互入場・無料

スタンプラリー毎日開催！

来場事前
登録で抽選
がプラス
1回!!

ご招待券

必ず本券を
お持ちください。